



都農町尾鈴山  
登山マップ  
OSUZU

登尾山鈴山  
マップ



つびよん

尾鈴山は、宮崎県都農町と木城町にまたがる標高1405.2mの山です。北方に万吉山、神陰山、南方に長崎尾、矢筈岳、黒原山、春山、上面木山などの支峰を従え、尾鈴県立自然公園として宮崎県の指定を受けています。尾鈴山の南東には大小30を越える滝があり、国内で初めて名勝指定された瀑布群となっています。世界で尾鈴山にしか咲いていない固有種の花木や、季節によって表情を変えるたくさんの滝など、見所の多い登山コースとなっています。



尾鈴キャンプ場憩いの森林館案内

【16時 in / 10時 out】



- 尾鈴憩いの森林館
- 休憩室/シャワー室/炊事室/多目的トイレを完備。
  - 休憩室は宿泊も可能です。(要予約)
    - ・大人(中学生以上)1泊:1,030円
    - ・子供(小学生)1泊:510円
    - ・貸切1泊:10,290円
  - シャワー室
    - ・1回3分:100円
- ※シーズン(7月~9月)のみ営業
- ※管理人不在時の鍵の受け渡しは平日17時まで都農駅内観光協会にておこないます。(年間利用可)  
※寝具等はございません。各自ご用意下さい。

【ご予約・お問い合わせ先】  
都農町観光協会  
TEL: 0983-25-5712 / FAX: 0983-35-3119  
都農駅内 〒889-1201  
宮崎県児湯郡都農町大字川北 3604 番地 7



由来



むかしむかし、牧内山から岩山あたりで馬牧がおこなわれていたそう。その馬牧には、どういうわけか必ず一頭の白馬がおたげな。その白馬は、山奥に深く分け入って神馬となったそうじゃ。このあたりの神さまは、この白馬にのってまちの真上を駆け回ったり、都農神社に参ったりしておたげな。不思議なことに、このあたりでは馬が見えなければ首にかけた鈴がなり、鈴がなければ馬がいなき、遠くまでその響きがさえわたったんじゃと。そこで人々は、この神さまを『お鈴様』と呼び、山を『尾鈴山』と呼ぶようになったそう。

オススメ

**A** しっかり周遊コース 約12km  
Course 急なところもありますが、初心者でも尾鈴山山頂を目指すことができる入門コース。季節折々の草木を見ることができます。



**B** 滝めぐり満足コース 約10km  
Course 西日本唯一の名勝指定された瀑布群を堪能できるコースです。白滝にたどり着くまでに、大小様々な滝を見ることができます。



**C** さわやか滝めぐりコース 約2km  
Course 尾鈴山の象徴ともいえる、矢研の滝をめぐるコースです。キャンプ場からも近く、気軽に滝を楽しむことができます。



# 登山MAP

## 尾鈴山の自然満喫

国内で初めて名勝指定された瀑布群

尾鈴山登山に滝めぐり、大自然を満喫できるコース。つのびよんが山と滝の魅力いっぱい尾鈴山をご案内します☆

日本三百名山に選ばれている尾鈴山。その魅力は、手付かずの自然が残され、山の恵みでいきいきと自生している草木の豊かさにあります。また、名貴川の源流部の甘茶谷、櫻谷、矢研谷などにかかる多数の滝は、昭和十九年（1944年）国内で初めて名勝指定された瀑布群です。中でも日本の滝百選に選ばれている矢研の滝は迫力満点！尾鈴の山めぐりで、自然の中で過ごす心地よさを体験してください。



**火の用心**  
都農町観光協会 **29** 宮崎県東湯消防署

**看板** 山中には、このように番号が書かれた看板が立っています。現在地を確認しながら登りましょう。



いよいよ **出発!**

登山道入り口。ここから勾配のきつい登山道が始まる。

矢研の滝 Yatogi Falls



日本の滝100選に選出されている豪壮な滝。水量が豊富で、落差は73mもある。

**分岐点**  
やすらぎ周遊コースと、矢筈岳方面の上級者コースとの分岐点。案内看板を見て進みましょう。



- A** しっかり周遊コース
- B** 滝めぐり満点コース
- C** さわやか滝めぐりコース
- 上級者向け高難易度ルート
- ウォーミングアップコース
- 九州自然歩道
- 一般車輛通行可

※この駐車場から先、一般車両通行禁止。

**尾鈴大山神**

国有林の指標植物である巨木を中心とした「森の巨人たち百選」に選ばれたモミの木。樹高27m/幹周471cm。



### 知ってこ！ まめ知識 尾鈴山

**まめ知識・その1**  
準備は大丈夫？ 非常時の事を考えた準備が常識。  
新しい装備は調整や練習をしよう。雨具や非常時の装備は常識。

**まめ知識・その2**  
早出早着が原則。計画をしっかりと立てて出発を！  
午後の天候が悪化する危険性を考えて、早出早着を心掛けて計画を立てよう。

**まめ知識・その3**  
登山の前はウォーミングアップをしよう！  
駐車場から勾配がきつくなる登山道に入る前は、歩きながら足をならしましょう。

**まめ知識・その4**  
無理は禁物。歩きがすべての基本です。  
安全な登山をするにも、疲れないで歩けるのも、歩き方や歩くペース等が重要。

**まめ知識・その5**  
心配をかけないために家族に下山報告を。  
登山口手前に設置してある登山台帳への記名を忘れずに。下山後は家族や知人へ連絡を。